

安全・安心な都市公園整備の推進(Ⅱ期)(防災・安全)

第三回変更

広島市

平成30年2月

社会資本総合整備計画

計画の名称	5 安全・安心な都市公園整備の推進（Ⅱ期）（防災・安全）							重点計画の該当																			
計画の期間	平成27年度～平成30年度（4年間）			交付対象	広島市																						
計画の目標	<p>広島市は、水と緑が輝くうるおいのある国際平和文化都市の実現を目指し、豊かで美しい自然環境を生かしつつ、安全、快適で美しい都市景観を有する質の高い都市環境の創造に取り組んでおり、既存の都市公園について、便所等の都市公園施設のバリアフリー化を行い、誰もが安全で快適に公園を利用できるようにする。</p> <p>また、公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の維持管理を行うことで、公園利用者の安全・安心の確保や、公園施設に係るトータルコストの低減を図る。</p>																										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園施設（便所）のバリアフリー化率について89.6%（H27当初）から、89.9%（H30末）に増加させる。 公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設（遊具等）の割合の増加 																										
定量的指標の定義及び算定式								<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H27当初)</th> <th></th> <th>(H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>便所が整備された全都市公園数に対し、バリアフリー対応便所が整備されている都市公園の割合を測定する。</td> <td>89.6%</td> <td>-%</td> <td>89.9%</td> </tr> <tr> <td>公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新等が必要な公園施設（遊具等）に対し、改築・更新等を実施した公園施設（遊具等）の割合を測定する。</td> <td>0%</td> <td>-%</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table>		定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H27当初)		(H30末)	便所が整備された全都市公園数に対し、バリアフリー対応便所が整備されている都市公園の割合を測定する。	89.6%	-%	89.9%	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新等が必要な公園施設（遊具等）に対し、改築・更新等を実施した公園施設（遊具等）の割合を測定する。	0%	-%	0.1%
定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
当初現況値	中間目標値	最終目標値																									
(H27当初)		(H30末)																									
便所が整備された全都市公園数に対し、バリアフリー対応便所が整備されている都市公園の割合を測定する。	89.6%	-%	89.9%																								
公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新等が必要な公園施設（遊具等）に対し、改築・更新等を実施した公園施設（遊具等）の割合を測定する。	0%	-%	0.1%																								
全体事業費	合計 (A+B+C)	402 百万円	A	402 百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	—															
交付対象事業																											
A1 基幹事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考											
									H27	H28	H29	H30															
5-A-4	公園	一般	広島市	直接	広島市	広島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	戸坂南公園ほか12箇所における便所のバリアフリー化	広島市					264	—	策定済												
5-A-5	公園	一般	広島市	直接	広島市	広島市公園施設長寿命化対策支援事業	瀬野川公園ほか8公園における遊戯施設等の更新	広島市					138	—	策定済												
合計												402		—													
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考												
									H27	H28	H29	H30															
合計																											
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考												
C 効果促進事業（該当なし）																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考												
									H27	H28	H29	H30															
合計																											
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考												
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考												
									H27	H28	H29	H30															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考												

交付金の執行状況

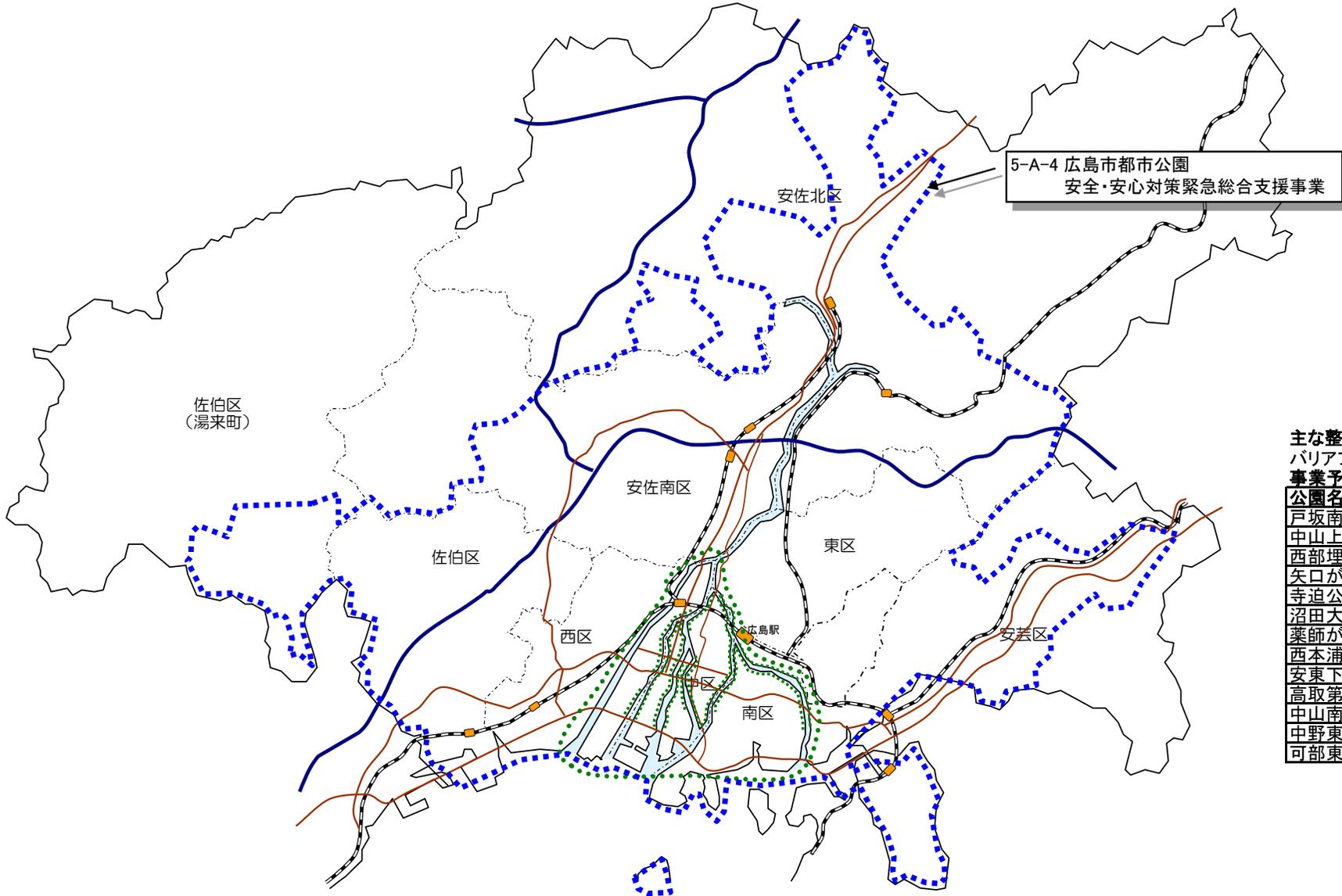
(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	49	28	20	34
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	49	28	20	34
前年度からの繰越額 (d)	43	48	15	16
支払済額 (e)	11	57	18	32
翌年度繰越額 (f)	47	15	16	18
うち未契約繰越額 (g)	27	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	34	4	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	66.3%	5.3%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	建築工事について、技能労働者不足などにより入札不調が頻発したため。			

- ※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。
- ※ 平成29年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	5 安全・安心な都市公園整備の推進(Ⅱ期)(防災・安全)	交付対象	広島市
計画の期間	平成27年度～平成30年度(4年間)		

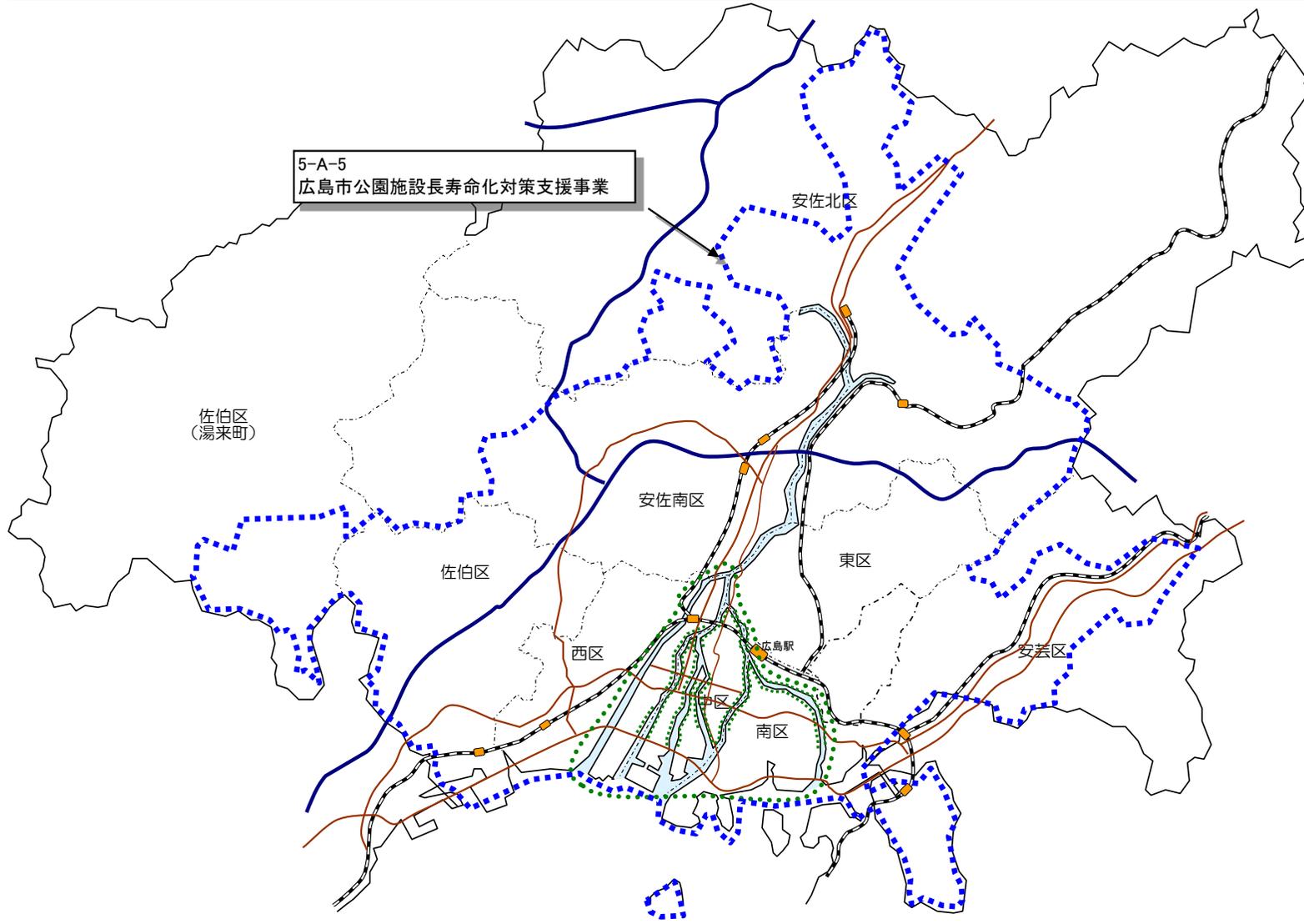


主な整備内容:
 バリアフリー対応便所整備
 事業予定箇所一覧

公園名
戸坂南公園
中山上第二公園
西部埋立第一公園
矢口が丘公園
寺迫公園
沼田大原台第三公園
薬師が丘第五公園
西本浦公園
安東下第二公園
高取第一公園
中山南第一公園
中野東第一公園
可部東第五公園

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	5 安全・安心な都市公園整備の推進(Ⅱ期)(防災・安全)	交付対象	広島市
計画の期間	平成27年度～平成30年度(4年間)		



主な整備内容:
遊戯施設等の改築・更新

事業予定箇所一覧

公園名
瀬野川公園
袋町公園
井口台西第三公園
牛田公園
古江西町公園
寺迫公園
鶴見公園
吉島東公園
可部運動公園

社会資本整備総合交付金チェックシート

(広域連携事業等タイプ)

計画の名称:安全・安心な都市公園整備の推進(Ⅱ期)(防災・安全) 事業主体名:広島市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○)</small> 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 ⑤ その他(広島市第5次基本計画、緑の基本計画)	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1)広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2)広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	—
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	—
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	—
2)拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	—
⑥円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	—
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○